

NO. **09** 言葉で訴える「私たちの思い」
マイシテイモハラ



▲最優秀賞に輝いた河野郁さん

「第24回茂原市少年の主張大会」が10月20日、東部台文化会館で開催されました。出場したのは、市内7中学から2人ずつ計14人。日頃感じていることや希望など、それぞれが思いの丈を発表しました。

入賞者は次のとおりです。◆最優秀賞 こうのかおる 河野郁さん（富士見中3年）◆優秀賞 もりかわ ゆき 森川裕季さん（本納中3年）、やまもと はるか 山本遙さん（茂原中3年）

水はどこからやってくる？ NO. **10**
マイシテイモハラ



▲長柄浄水場の説明を受ける参加者

10月3日、市が主催する公共施設見学会に約30人が参加しました。ゴミが最終処分される過程や、普段飲んでいる水がどうやって家庭まで届いているかなど、普段見ることの出来ない施設内に入り、説明を受けました。今回のコースは、長生クリーンパーク・エコパーク長生・長柄ダム・長柄浄水場を巡るコースでした。参加者は「大変なためになった」と話すなど充実した1日を過ごしました。

「わあ大きい！」 NO. **06**
マイシテイモハラ



▲サトイモ掘りにも挑戦しました

10月31日、市内山崎の西ヶ谷さん宅の畑で、市内緑ヶ丘の認可外保育園・チャイルドハウスの園児48人が、サツマイモ掘りに挑戦しました。これは、収穫体験を通して自然に触れ合ってもらおうと、西ヶ谷さんが毎年実施しているもの。

秋空の下、園児たちは自分の顔ほどの大きなサツマイモを掘り出し、「大きい」、「たくさん取れたよ」などと笑顔を見せていました。

NO. **07** 被災地域の力になります
マイシテイモハラ



▲災害廃棄物を処理場まで運ぶ建設業組合のみなさん

10月19日、市と災害応急対策に関する業務協定を結んでいる建設業組合の皆さんが集合し、台風26号による浸水被害で捨てられた災害廃棄物の収集に活躍しました。この日は早朝から中央公民館前を出発し、13社・トラック21台・40人の方が作業し、市が回収した分を含む廃棄物約180トン、畳416枚を収集。10月18日から25日までに廃棄物が約1,015トン、畳3,526枚が収集されました。

困ったときはお互い様！ NO. **08**
マイシテイモハラ



▲災害ボランティアとして被災地域を支援するみなさん

台風26号の風水害による被害地域を支援するため、10月17日から29日まで「茂原市災害ボランティアセンター」が設置され、被災世帯の復旧支援が行われました。茂原市社会福祉協議会の声かけにより、100件の依頼件数に対し、延べ374人が参加。被災者の方々は「とてもありがたい。助かったよ。」と話していました。